

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る  
郵便番号600-8652

## 「京銀輝く未来応援ファンド2号」第8号案件への投資について ～角膜の再生医療製品開発等を行う同志社大発ベンチャー「アクチュアライズ株式会社」へ投資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2019年2月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 奥野 浩）と共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合（略称：京銀未来ファンド2号）」は、第8号投資案件として、「アクチュアライズ株式会社」へ投資いたしました。

「アクチュアライズ株式会社」は、従来培養が困難であった角膜内皮細胞を、移植可能な品質で大量に培養するという同志社大学発の技術をもとに、培養した他家細胞を用いた角膜内皮疾患の治療法の研究および再生医療製品等の開発・製造を行うベンチャー企業です。同社の技術を用いた治療法が実用化されれば、角膜移植に代わる角膜内皮疾患の新たな治療法になり得ると期待されています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行う当ファンドを通じ、幅広いステージの企業を積極的に支援し、今後もさらなる地域経済の活性化と地域創生に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 投資先概要

企業名	アクチュアライズ株式会社
代表者	代表取締役 杉岡 郁
本社所在地	京都府京田辺市興戸地藏谷1番地
設立	2018年5月
事業内容	フックス角膜内皮ジストロフィー※の治療用角膜内皮細胞再生医療製品、進行予防および改善薬の開発・製造・販売 ※フックス角膜内皮ジストロフィー 角膜内皮細胞が通常より早く減少する疾患。進行すると角膜が白濁し、著しく視力が低下した状態になる水泡角膜症を引き起こす。

## 2. 投資額

19,833,000円

## 3. 投資について

同志社大学発の研究で培われた角膜内皮細胞培養技術を基に、角膜内皮再生医療技術（治療法）の研究および再生医療製品等の開発・製造を行う「アクチュアライズ株式会社」に、実用化に向けた研究・開発資金として投資を行う。

### ※角膜内皮再生医療について

同志社大学生命医科学部 医工学科 小泉 範子教授、奥村 直毅准教授が、世界で初めて、臨床応用可能な高品質の角膜内皮細胞を大量培養する技術を確立。これにより、培養した角膜内皮細胞を Rho キナーゼ阻害剤と一緒に注射で移植する細胞注入治療の臨床研究が始まり、実用化すると角膜移植に代わる新たな治療法になり得るとして期待されている。

## 4. 京銀輝く未来応援ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	10億円
当行出資額	9億90百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年 (ただし、合意により2年間の延長可能)

以 上